

# ARIDA

広報  
ありだ

11 November 2015  
No. 624

家族みんなで  
健康フェスティバル















マイケル・デリエンゾさん 野 在住



千田祭りでの マイケルさん(中央)



須佐神社



手前から

か華の乃菜  
せつ雪新い灣  
よしも元の尾田た宮  
よいし猪村みや



私たちも神社を散策

取材を終えて・・・

取材を終えて・・・  
にイ  
ンタ  
にえ  
たいた  
えに、  
マイ  
ルさん  
はた  
ちの緊  
ました。  
間のい  
市への  
してく  
も、み  
した。  
さんの  
くこと  
くの市  
ので  
でいた  
ました。

みかんに会おう

そんな中、孫右衛門は、命ぜられて肥後の国へ行くことになりました。肥後の国にはみかんという果物があつて、多額の収益をあげていることを聞いていた孫右衛門。この機会にみかんの苗木を持ち帰り、里に繁殖させて人々の幸せを図ろうと考え、上司にこのことを相談しました。上司はその志にいたく感激しましたが、この時代、他藩との通商貿易を厳禁されている中で、みかんの苗木を持ち出すのは簡単ではありませんでした。そこで上司はみかんの株を分けてもらえるよう「盆栽として楽しみたいので、孫右衛門に与えてくださるまいか」と巧みな手紙を書きました。孫右衛門はその手紙を親しくなった役人に見せることで、夢にまで見た苗木を一株手に入れることができました。

孫右衛門ってどんな人？

伊藤孫右衛門は、今からおよそ500年前の三五四三年、糸我庄中番村の裕福な農家に生まれました。彼は非常に殖産に熱心な青年でした。

「我が糸我の里は、山腹が広く丘陵に富んでいる。これを畑に開墾して適当な果樹を植えたならば、必ず人々の暮らしが楽になるに違いない」と考え、山林を開墾し、いろいろな果樹を植えて、研究していました。

みかンを有田の地へ



孫右衛門が有田の地へみかんを植えた場所

みかんの株が枯れないうちに急いで帰らねばなりませんでしたが、世は戦国時代。戦の絶えない諸国を通り、数十日を要する旅路は想像以上の苦勞を伴いました。拝みたいような気持ちでようやく和歌山へたどり着いた時、みかんの株はかなり衰えていました。一株のうち、ひとつを上司の庭園に植え、もうひとつを孫右衛門の家の近くの畑に植えました。上司の庭園に植えた苗木はまもなく枯死してしまいました。孫右衛門の苗木は丹精に手入れをしたおかげで、すくすくと成長し、数年後に香り高い黄金色の実を結びました。これが噂で広がり、接穂してほしいという人は喜んで与えていました。ところが、有田の地にどんぐりみかん栽培が広まってきました。

人々の幸せを考え、奔走した孫右衛門の行動が、現在の有田みかんの礎を築いたのです。

伊藤孫右衛門の  
※本市のがんきつ栽培の起源

有田公園内に立てたは諸説あります。

みかんの始伊藤孫右衛門

～伝説からみる本市がみかんの栽培の起源～



# より良い有田市をめざして

季節はずれの桜



第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」及び第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」が、無事に閉幕しました。これまで一つひとつ、長きにわたり関わってこられた皆様のご尽力に深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

最近、思いがけず心が熱くなりました。それは、桜のエンブレムを抱いたユニフォームに身を包んだラグビー日本代表です。ワールドカップイングランド大会で、1次リーグに3勝を挙げ、日本ラグビーの歴史を大きく塗り替えました。

今大会にむけて、日本人の俊敏性などを活かした戦術を確立させ、筋力とスタミナの強化に力を入れてきたそうです。「世界一」と自負する練習の積み重ねが、海外の強豪チームにパワーや体格では敵うはずがないと言われてきたチームの自信となり、今大会の躍進につながったと思います。

ラグビーは1チーム15人で1個のボールを争って、相手陣内の最も深い位置までボールを運ぶスポーツです。また、ボールを前に投げるのができません。後ろに投げなければならぬのです。つまり、前進するためには一旦後退しなければならぬスポーツです。

前に進むためには、良いボールを後ろに続く仲間に渡さなければなりません。良いボールを渡すためには、ボールを持った選手は自分を犠牲にする覚悟が求められます。個々の選手がポジションごとに役割を果たし、全員が組織の前進に集中することが大切であり、社会や組織、学校でもそれは通用することです。

最後にもう一つ。誰でもスポーツをする以上勝ちたいと思うのは当然です。しかし、ラグビーの試合には基本的に延長戦がありません。なぜなら、勝敗を決することもとも目的ではないからだそうです。

スポーツの価値は、勝敗のみならず、色々なことを教えてくれるところにある気がします。改めて「スポーツって素晴らしい」と思います。

有田市長 望月良男



## イオンモール和歌山が「有田色」に染まる!

有田みかんの再ブランド化をめざしてスタートし、今年で6年目を迎える「ノエル・アリダ・スイーツコンテスト」。昨年さらにパワーアップして、今年もたくさんの人に楽しんでもらえるようなイベントになっています。

多くの方のご来場をお待ちしております。

問 産業振興課 (内線275)

日時 11月8日 (日)

会場 イオンモール和歌山

午前10時30分～

有田みかん官能審査会 (3Fイオンホール)

午後1時30分～

ノエルアリダスイーツコンテスト2015

(1Fサークルコート)

午後3時30分～

コンテスト出場作品試食会 (1Fサークルコート)

※試食会整理券配布は午後0時30分～です。

他にも産直市場よって「有田フェア」や有田みかんクイズ大会・Gently帰国ライブなど楽しいイベント盛りだくさんです♪



市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

◎より良い広報づくりのため、皆様のご意見ご要望をお寄せください。



この広報紙は地球環境保護のために、再生紙と植物油インクを使用しています。